新設バスルート案

＜方針：安全・円滑な地域内外の移動手段の充実を目指す＞

資料２

「上郷東地区まちづくり構想」
新設バスルート案設定の視点

＜基本的な視点＞

1　**幹線道路網の整備効果を活かす。**
地域の交通条件の変化を活かして、交通利便性の強化に取り組み、多世代が住む持続性の高い住宅地とすること。

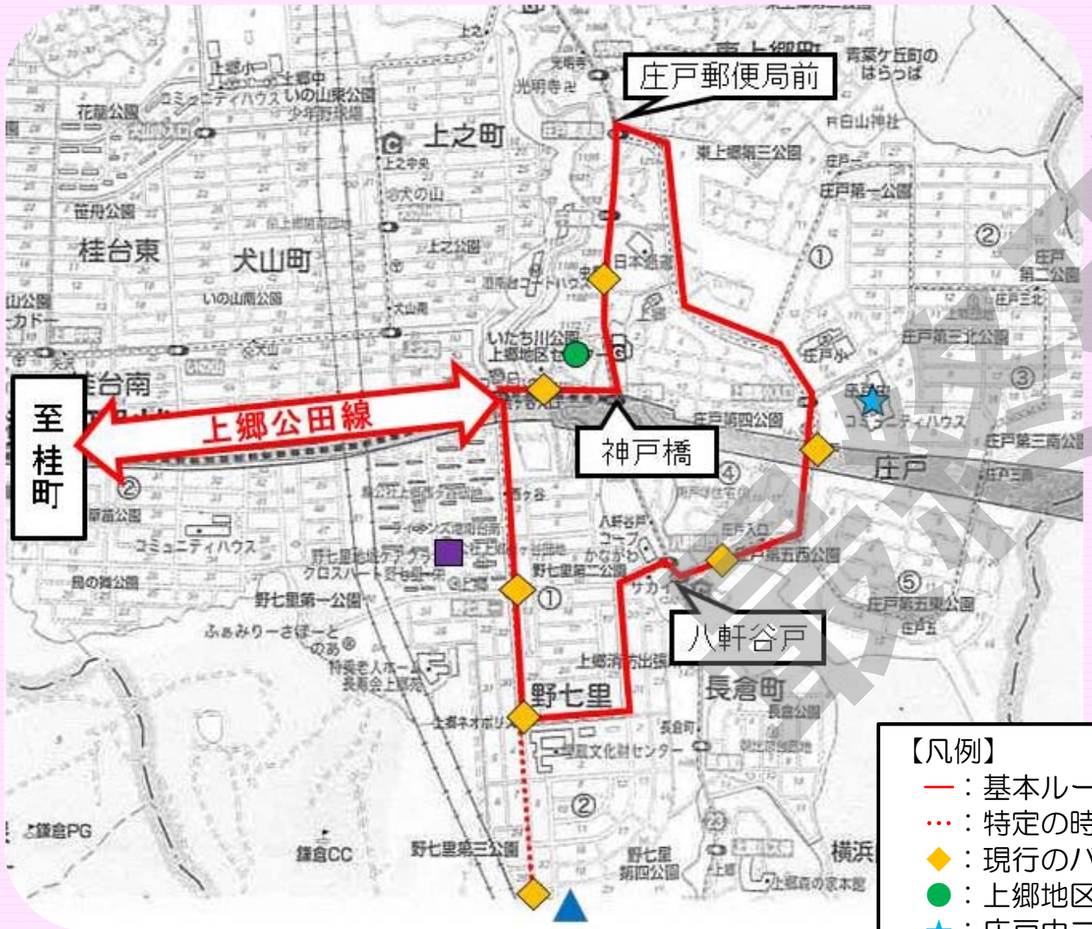
2　**地域内の安全で快適な移動の仕組みを作る。**
高齢化が進む中、身近な施設やサービスの利用ができるよう、安全で快適な地域内移動の仕組みをつくること。

＜考慮する視点＞

1　上郷公田線を経由して本郷台駅方面にアクセスできるルートであること。
2　通勤・通学の速達性が図られるルートであること。
3　日常の買い物や公共施設等への移動について利便性が図られるルートであること。
4　地域住民の理解が得られるルートであること。
5　バス事業者に働きかけやすいルートであること。

（仮称）　本郷台～上郷公田線～野七里・庄戸案

■日常の買い物等の利便性を重視
■野七里・庄戸地区を経由し、ケアプラザ・地区センターなどの公共施設への移動の利便性を重視



（仮称）　本郷台～上郷公田線～金沢八景案

■通勤・通学の際における本郷台方面への速達性を重視

【凡例】
—：基本ルート案
…：特定の時間帯のみのルート案
◆：現行のバス停
●：上郷地区センター
★：庄戸中コミュニティハウス
■：野七里地域ケアプラザ
▲：翠風荘

検討用